

駅前周辺 整備

と

まち づくり

現在、茨木市ではJR茨木駅西口駅前周辺と

阪急茨木市駅西口駅前周辺において、

これからの整備方針を定める

JR茨木駅・阪急茨木市駅 西口駅前周辺整備基本計画の
策定を進めています。

両駅周辺を含む中心市街地のまちづくりを考えるために、
これまでの中心市街地のまちづくりを写真で振り返りました。

在郷町としての発展

中世に茨木城の城下町として始まり、江戸時代初期に廃城となつてからは、
街道を中心に酒造業などの商工業が栄える在郷町として発展し、
茨木の中心市街地の原形が形成されました。



茨木神社に移築された茨木城の搦手門



在郷町の歴史を感じられる町家



江戸時代に建てられた茨木別院本堂
(昭和40年:田村文男氏撮影)

J R 茨 木 駅 の 開 業

1876年(明治9年)に官設鉄道(現在のJR)の茨木駅が開業しました。

これにより、茨木駅を中心に在郷町の西側も市街化が進みました。



かつてのJR茨木駅西口(昭和43年:田村文男氏撮影)



JR茨木駅西口駅前にあった新池(昭和40年:田村文男氏撮影)



かつてのJR茨木駅東口(昭和40年:田村文男氏撮影)

地図2〜4は「今昔マップ on the web」
(<https://ktgis.net/kjmapw/>)より作成

明治34年人口は大阪府内務部(1902)
「大阪府現住人口及現住戸数表」大阪府内務部による。
令和6年人口は住民基本台帳による。
その他の人口は国勢調査による。

地図1 | 茨木之地図(享保年間)

地図2 | 1/20000茨木 明治41年測図・明治44.10.30発行(1908年)

明 治 時 代

1901年(明治34年)
人口:約4,039人(茨木町)

大正時代

1925年(大正14年)
人口:約7,084人(茨木町)

阪急茨木市駅の開業

1928年(昭和3年)に新京阪鉄道新京阪線(現在の阪急電鉄京都線)の
茨木町駅(現在の茨木市駅)が開業しました。



かつての阪急茨木市駅西口(撮影年不明)



阪急茨木市駅西口付近 西側を望む
(撮影年不明:梅田氏撮影)



駅前広場整備中の阪急茨木市駅西口
(昭和43年:田村文男氏撮影)

高度経済成長期とインフラ整備

1970年(昭和45年)の大阪万博開催にあわせて、両駅西口で駅前広場整備とともに現在の茨木駅前ビル、
ソシオ茨木(茨木ビル・永代ビル)などの施設が整備されました。また、中央通りの拡幅も進められるなど、
まちなかのインフラ整備が進められました。



駅前広場が整備されたJR茨木駅西口(撮影年不明)



大阪万博開催中のJR茨木駅西口(昭和45年)



アンダーパスが整備されたJR茨木駅北側
(昭和44年:田村文男氏撮影)



駅前広場が整備された阪急茨木市駅西口(昭和45年)



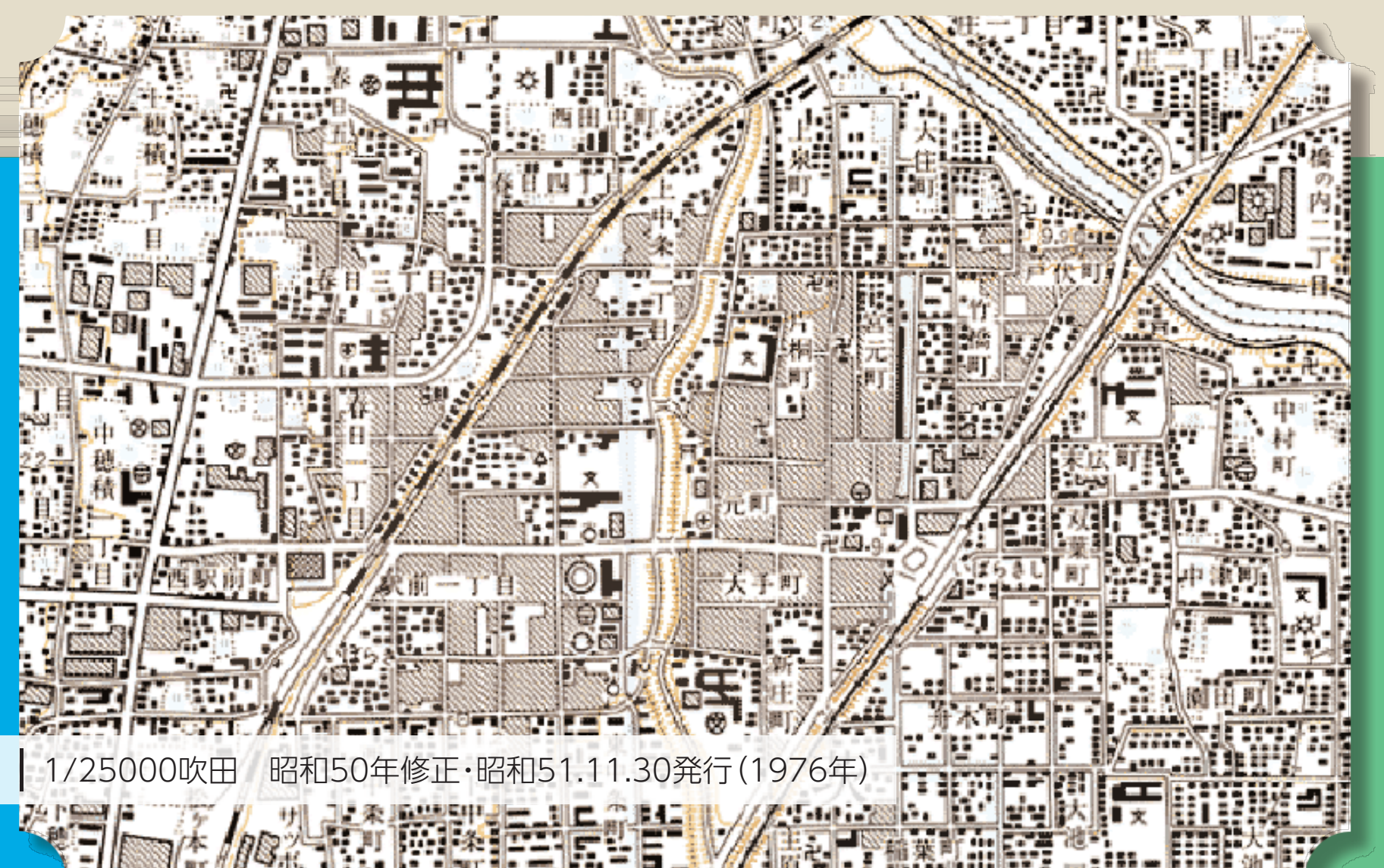
ソシオ茨木が完成した阪急茨木市駅西口(昭和45年)



拡幅中の中央通り(昭和44年:田村文男氏撮影)



地図3 | 1/25000吹田 昭和4年修正・昭和7.11.30発行(1929年)



地図4 | 1/25000吹田 昭和50年修正・昭和51.11.30発行(1976年)

1950年(昭和25年)
人口:約34,820人(茨木市)

昭和時代

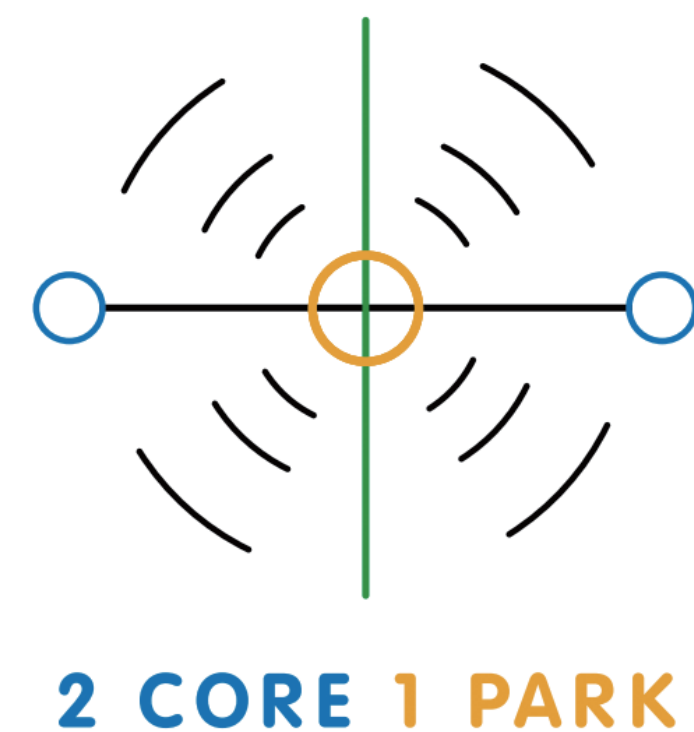
1975年(昭和50年)
人口:約210,286人(茨木市)

平成時代

2000年(平成12年)
人口:約260,648人(茨木市)

進みゆく まちづくり

茨木市では、まちなかを
「2コア1パーク&モール」の
都市構造で捉え、
まちづくりを推進しています。

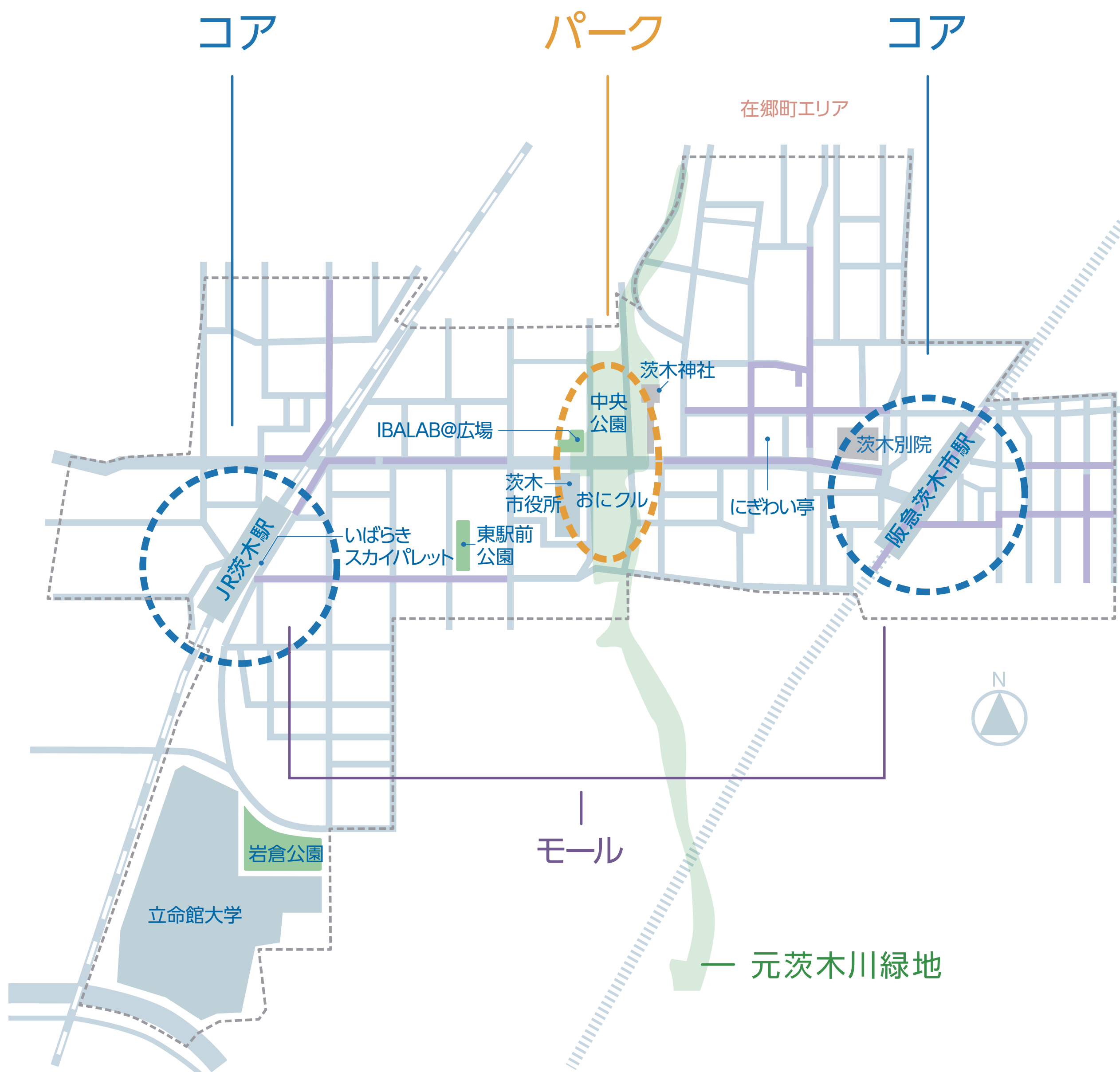


（まちなかのポテンシャルを活かす）

茨木市のまちなか（中心市街地）は、人々が集まり、広域の交通アクセスを担うJR茨木駅と阪急茨木市駅（2コア）が東西に位置し、駅間は約1.3kmとやや距離がありますが、大きな道路による分断が無く、複数の商店街や中央通り・東西通りの東西軸（モール）があり、その中間地点には、緑豊かなおにクル・中央公園・元茨木川緑地（1パーク）があるといった、歩きやすく魅力的なエリアになるポテンシャルがあります。

（ひと中心のまちなかへ）

ポテンシャルのある都市構造を「2コア1パーク&モール」と捉え、それぞれの場で起きる変化や更新されることを、“点”で終わらせることなく、“線”でつなぎ、まちなか全体に“面”へと波及させることで、相乗効果のあるまちづくりを進めています。社会実験やワークショップなどのまちづくりのプロセスを積み重ねるなかで、多様な“人々”が大小さまざまな“場”で、くつろいだり、楽しんだり、チャレンジしたり、出会ったりと、思い思いの“活動”が日常的に繰り広げられるような“景色”が生まれていきます。



2コア

JR茨木駅、阪急茨木市駅の
両駅周辺エリア

1パーク

中央にあるおにクル、市役所、
中央公園、元茨木川緑地のエリア

モール（東西軸）

2つのコアを結ぶメインストリート、
中央通りと東西通りや商店街

南北軸

中心市街地を南北に
横断する元茨木川緑地

茨木市は、皆さんの共感のもと、
“ひと中心のまちなか”へと歩みを進めていきます。

1. 目的

茨木らしい幸せと豊かさを共感できるまちなかの実現

2. 求めていく価値観

ひと中心の茨木まちなかスタイル

茨木のまちなかを楽しみ、使いこなすための10のスタイル



STYLE 01
ぶらぶら歩くと
新しい発見がある



STYLE 02
自転車でも
のんびり過ごせる



STYLE 03
日常的に四季の
変化を感じられる



STYLE 04
このまちにしかない
ものがある



STYLE 05
夜のいいにぎわい
を感じる



STYLE 06
思い思いに過ごす
場所がある



STYLE 07
みんなで考え
育てる場所がある



STYLE 08
気軽にチャレンジ
ができる



STYLE 09
愛を持って
まちなかを応援する



STYLE 10
いろんな人に
紹介したくなる

3. コンセプト

手をつないで歩きたい、茨木まちなか

文字通り「手をつないで歩きたくなる」ようなゆとりのあるまちなかという意味に加え、まちなかスタイルへのみなさんの共感と実践によるいい影響の輪が人から人へ広がっていくイメージを込めています。

● そぞろ歩きが楽しめる ● お気に入りの場所がある ● だれかと共感しあえる

まちなかでの 取組み

おにフルの開館をきっかけに、イベントや文化・芸術などの市民活動がより一層盛んに行われています。
「おにフル」で見られる活動の景色をまちなかに広げていくため、まちなかの公共空間を活用したさまざまな**社会実験**や**イベント**が行われています。

社会
実験

IBARAKI STREET ACTION



@市道市役所前線

まちの新たな景色を体感、
空間の使われ方や
人の流れを検証



社会
実験

みちフルプロジェクト「みちリノ」

道が変わればまちも変わる、
魅力的なメインストリートづくりに向けて、
DIYを活用した2日間の試み



@中央通り側道

社会
実験

駅前に広場空間を設置する「いばソト」



@JR茨木駅西口タクシー広場

車中心の駅前に
心地よく過ごすための
広場空間が出現



イベント

えきまえマルシェ



@いばらきスカイパレット

JR茨木駅に直結した道路空間の活用



イベント

駅前ビルを使ったいろんなイベント

民間建物の利用などにより、
駅前の可能性を探っています



ジャズ&クラシック
フェスティバル
@ソシオ茨木2F通路



屋上を使った夜市
@ソシオ茨木屋上

イベント

茨木 蚤の市

公園などの公共空間が活用され始めています



@IBALAB@広場(下の広場)



@元茨木川緑地



次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。